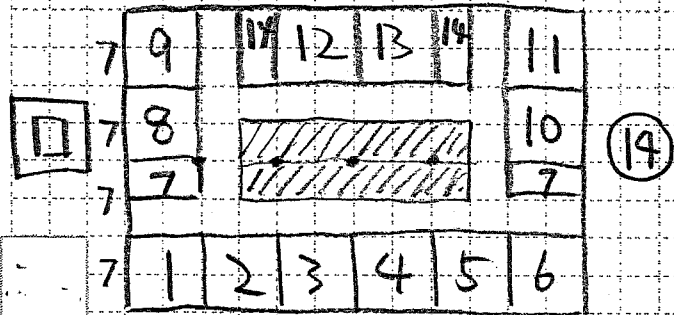
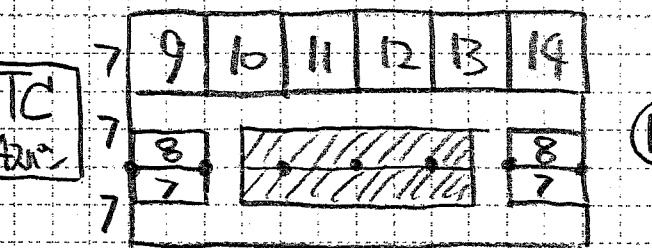
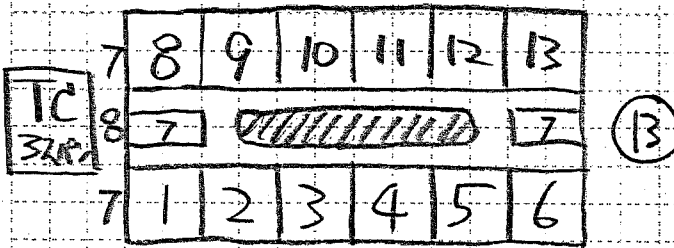
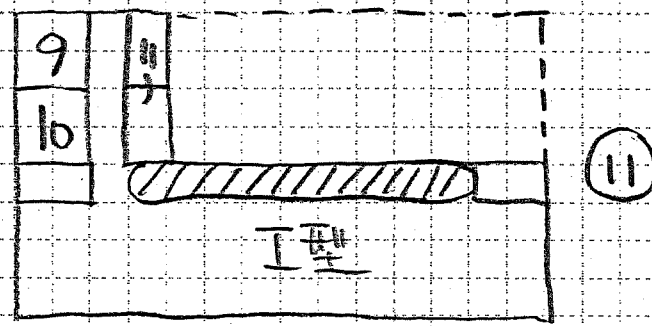
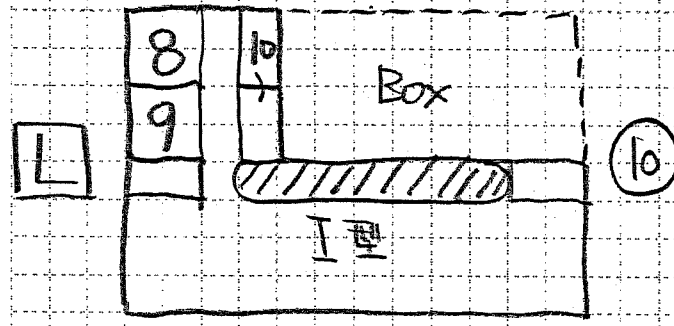
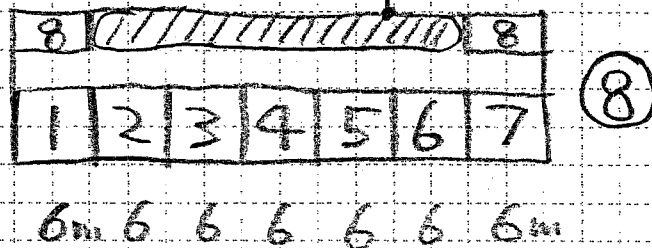
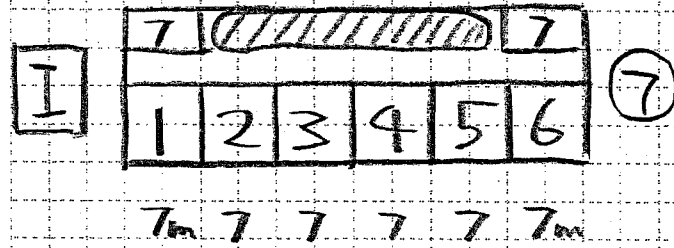


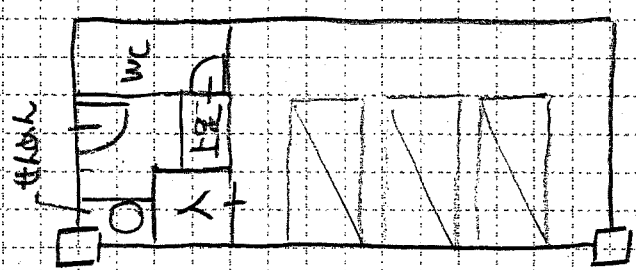
7x7 62㎡

6x7, 6x8, 72㎡ utility zone

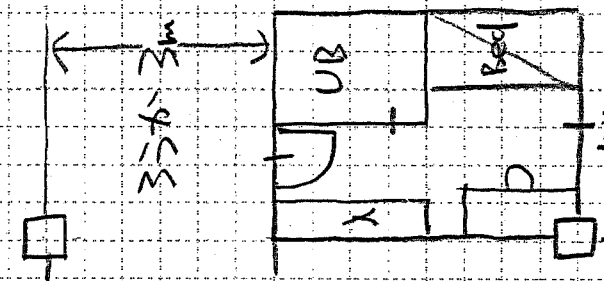


宿泊室配置計画 14-14

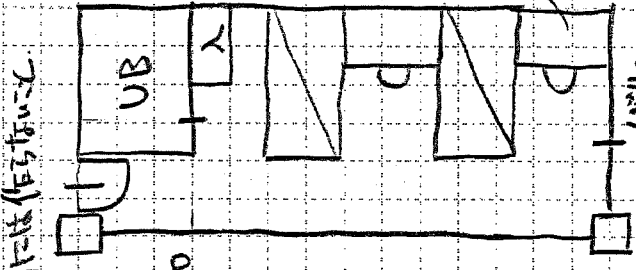
- 1) 間口数も重要  
→ 足らない時は 6m系列.
- 2) I-L-Box  
Tc3-Tc4-口等  
可能性は全てあること
- 3) Utility Zoneに2つの27が入る  
場合あり.



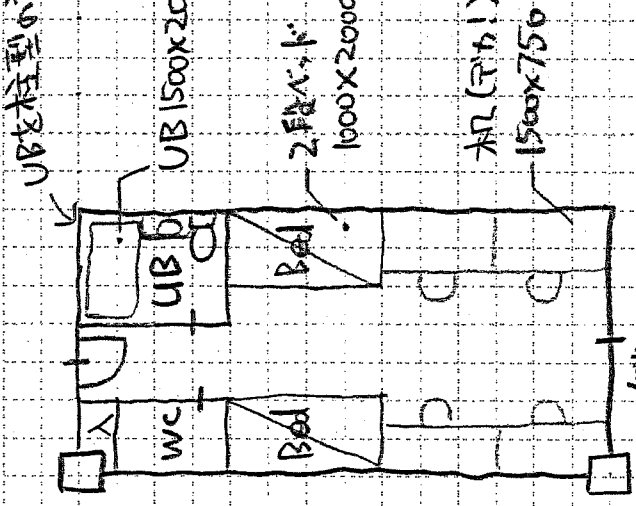
7x3 和室付  
(6x3) 32㎡  
1/100



4x3 6m  
(12㎡)



7x3 27口室  
(21㎡)



7x3.5 27口室  
(24.5㎡)

宿泊室で気取った部分は 1/100 で検討して欲しい。  
標準 7x7 スペックの半割で 2段ベッドで 4人可能  
3人用最小限は 4x3 27口 (UB付付可)

## I. 設計条件

この課題は、国際親善のために宿泊部門のある研修施設を計画するものである。計画に当たって、長期滞在の居住環境として、宿泊室はすべて南に面するものとし、かつバルコニーを設けるものとする。加えて自由提案として、交流するための室を設けることが求められている。バリアフリー法円滑化基準を満たすものとする。

## 1. 敷地及び周辺条件

- 敷地の形状、接道条件、周辺状況等は、「敷地図」のとおりである。
- 敷地は道路及び隣地との相互間に高低差はない。また歩道の切り開きは、1箇所当たり6mまでできるものとする。
- 敷地は、近隣商業地域及び準防火地域に指定されている。また、建ぺい率の限度は80%(特定行政庁が指定した角地にある敷地及び準防火地域における耐火建築物等を含む)、容積率の限度は300%である。
- 敷地内はできる限り緑化することを心がけるものとする。
- 電気、ガス及び上下水道は、完備している。
- 地盤は良好であり、杭打ち等の必要はない。
- 水害、日影及び積雪の配慮はしなくてよい。

## 2. 建築物

- 構造、階数等  
構造形式は自由とし、地上3階建ての耐火建築物とする。
- 床面積の合計  
床面積の合計は、容積率以下とする。  
この課題の床面積の算定においては、ピロティ、塔屋、バルコニー、屋外階段は、床面積に算入しないものとする。なお、ピロティ等を屋内的用途に供するもの(駐車場、設備スペース等)については、床面積に算入するものとする。
- 要求室  
下表の室は、すべて計画する。

部門	室名	特記事項	床面積
交流 研修 部門	多目的 交流ホール	・天井高さ5m以上とし、無柱空間とする。	約 160m <sup>2</sup>
	図書室	・図書事務室、貸出カウンター、書架、テーブル、イス、キャトル等を配置する。	300m <sup>2</sup> 以上
	会議室	・大・中・小3つの会議室を計画する。 ・大会議室にはステージを設ける。	計220m <sup>2</sup> 以上
	提案室	・交流するための室を2室以上計画する。 ・室名は提案室とせず、設定してつけないこと。	計250m <sup>2</sup> 以上
	宿泊部門	・バス、洗面、トイレユニットを設ける。 ・机、ベッドを設ける。 ・バルコニーを設け、南面させる。 ・1室約20m <sup>2</sup> とし、17室以上設ける。	計340m <sup>2</sup> 以上
共用 部 /他	リネン庫	・宿泊室用とする。	適宜
	宿泊ロビー	・ソファを設ける。 ・屋上庭園への出入り口付近に設ける。	適宜
設備 スペース	エントランス ホール	・風除室を設ける。 ・上部には吹抜け(100m <sup>2</sup> 以上とし、風除室上部は含まず)を設け、加えてトップライトを設ける。 ・2階への専用階段を設ける。	適宜
	ラウンジ	・エントランスホールに面して設ける。	適宜
	レストラン	・テーブル、イス、カウンターで20席以上設ける。厨房等を設ける。	適宜
	事務室	・案内カウンターを設ける。	適宜
	更衣室	・職員用として男女設ける。	適宜
	倉庫		適宜
	便所	・男、女、多機能トイレ(オストメイト対応)を各階に設け便器、洗面、SK等をレイアウトする。	適宜
設備スペース	・必要に応じて室外機、電気設備を設置する。 ・機器のメンテナンスに配慮した配置とする。 ・その他、採用した設備計画に応じて計画する。	適宜	
・職員の通勤口等は、適切に計画する。			
・上記の室に関連して必要と思われる室等は、適宜計画するものとする。			

## 3. その他の施設等

- 駐車場は平面駐車とし、車いす利用者として1台分、一般利用者として1台分、管理・サービス用として1台分を設ける。
- 駐輪場は、2.0mx0.5m/台とし、20台分以上設ける。
- ベンチ、植栽等を配置した屋上庭園(200m<sup>2</sup>以上)を設ける。

## 4. 留意事項

- 建築計画、構造計画及び設備計画については、次の点に留意して計画する。
- 建築物はバリアフリー、セキュリティ、省エネルギー、景観に配慮する。
  - 利用者の当該敷地へのアプローチは、利用者の利便性に配慮する。また各部門は利用形態に応じて適切に計画する。
  - 敷地条件(方位等)や周辺環境に配慮するとともに、空調負荷の抑制や自然光の利用、日射遮蔽及び通風等を用いて、建築環境負荷低減に配慮する。
  - 建築物全体が、構造耐力上、安全であるように計画するとともに経済性にも配慮する。

- 構造種別、架構形式、スパン割及び基礎構造について適切に計画すると共に、適切な断面寸法の部材を配置する。
- 設備機器の搬出入及び更新に配慮した計画とする。  
エレベーターは、利用者用1基とし、サービス用と兼用する。
- 建築物の外壁の開口部で延焼のおそれのある部分には、所定の防火設備を適切に計画する。また、防火区画(面積区画・堅穴区画)が必要な部分には、所定の防火設備を用いて適切に区画する。なお、本建築物は、「避難上の安全の検証」を行わないものとする。
- 廊下を含む共用部分の排煙を適切に計画する。
- 地上に通ずる2以上の直通階段を適切に計画する。また、必要に応じて、「敷地内の避難に必要な通路」を適切に計画する。

## II. 要求図書

答案用紙 I の定められた枠内(寸法線については枠外でもよい。)に、黒鉛筆を用いて記入する。

## 1. 要求図面(答案用紙 I に記入)

下表により、所定の図面を作成し(フリーハンドでもよい)、必要な事項を記入する。なお各図面には、必要に応じて計画に留意した事項について、簡潔な文章や矢印等により補足して明示する。

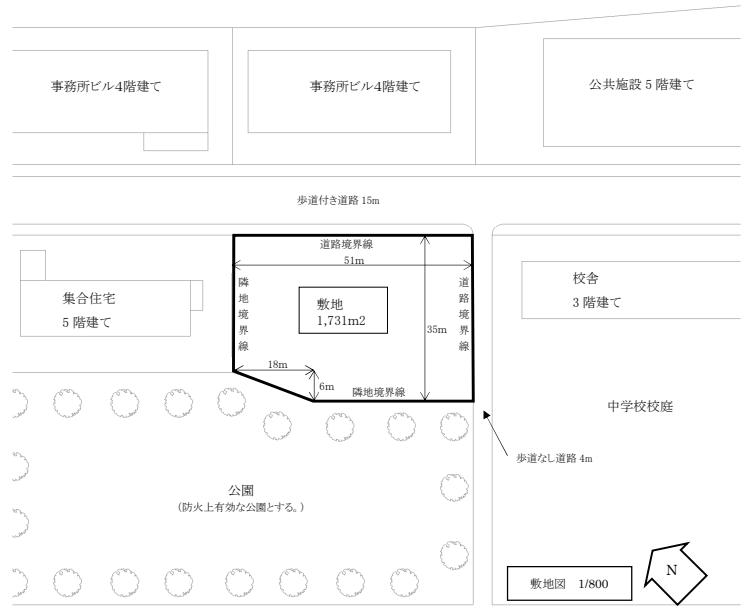
図面及び縮尺	特記事項
(1)1階平面図 兼 配置図 1/200	① 1階平面図兼配置図、2階平面図及び3階平面図に、次のものを図示又は記入する。 イ.建築物の主要寸法(柱割り及び床面積の計算に必要な程度)ロ.室名等 ハ.設備シャフト〔パイプシャフト(PS)、ダクトスペース(DS)、電気シャフト(EPS)]の位置 ニ.設備計画に応じた設備スペース ホ.断面図の切断位置 ヘ.要求室の床面積、特記事項の室、スペース、什器等 ト.建築物の外壁の開口部で延焼のおそれのある部分の位置及び防火設備、防火区画に用いる防火設備
(2)2階平面図 1/200	② 1階平面図兼配置図には、次のものを図示又は記入する。 イ.建築物の出入口(▲で表示)、通用口等(△で表示) ロ.駐車場及び駐輪場(台数及び出入口を明示する。) ハ.敷地内の避難に必要な通路(ある場合のみ)の経路と幅 ニ.道路、植栽等
(3)3階平面図 1/200	③ 2階平面図には、次のものを図示又は記入する。 イ.下階の屋根、ひさし等となる部分 ロ.居室の最も近い位置から2の直通階段に至る歩行経路、その一に至る歩行距離及び重複区間の長さ ④ 3階平面図には、次のものを図示又は記入する。 イ.下階の屋根、ひさし等となる部分 ロ.居室の最も近い位置から2の直通階段に至る歩行経路、その一に至る歩行距離及び重複区間の長さ
(3)断面図 1/200	① 切断位置は、エントランスホール吹抜けを含む位置とし、立体構成がわかる断面とする。なお水方向、鉛直方向の省略は行わないものとする。 ② 建築物の最高高さ、階高、天井高、1階床高、基礎底盤、及び主要な室名を記入する。 ③ 梁、壁、基礎、スラブの断面を図示する。 ④ 延焼の恐れのある部分及び、防火区画の防火設備、特定防火設備を図示する。

## 2. 面積表(答案用紙 I に記入)

- 地上1～3階の床面積及びその合計を記入する。なお、各階の床面積については、その算定式も記入する。また建ぺい率とその計算式についても記入する。

## 3. 計画の要点等

- 建築計画、構造計画及び設備計画について、次の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
- 建築物の動線・ゾーニング計画について宿泊部門のセキュリティに配慮した点
  - 建築物へのアプローチ計画について配慮した点
  - 敷地周辺環境に対して建築計画上配慮した点
  - 提案室の室名と提案理由
  - 代表的な宿泊室のレイアウト(1/100程度)
  - 多目的交流ホールの架構計画について、その特徴及び特に配慮した点
  - 選定した基礎とその経済性について配慮した点
  - 採用した空調方式について省エネルギーの観点から配慮した点



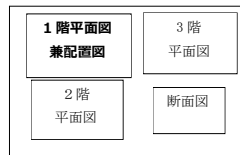
## 防火設備等の凡例

(◎、◎等の表示は、必要箇所(外壁の開口部、断面図も含む)に全て記入すること)

【建築物の外壁の開口部で延焼のおそれのある部分の位置(延焼ライン)と防火設備】	【防火区画に用いる防火設備の位置及び種類】 防火区画(面積区画・堅穴区画)に応じて、要求される所定の防火設備の位置及び種別を記入すること	
	特定防火設備	法292ニロに規定する防火設備
	◎	◎

建築物の外壁の開口部で延焼のおそれのある部分がある場合においては、隣地境界線又は道路中心線から延焼のおそれのある部分までの距離(m)を記入し、延焼ラインを破線で図示すること  
また、建築物の外壁の開口部で、延焼のおそれのある部分の開口部に要求される所定の防火設備の種別を記入すること

## 5. 図面レイアウト(製図試験.com 課題指示:本試験では解答用紙 I に記載)



■添削について  
コース生・添削希望者は、図面、要点、エスキース・分析表を同封して下記住所までお送り下さい。〆切は7月10日(月)消印有効。添削は約1週間程度でご返却を予定しています。  
〒554-0012 大阪市此花区西九条2-7-8-3F 製図試験.com 事務局  
送付前に図面は必ずコピーを取ったのち、その原本を4つ折りして角2号封筒を使用してください。速達、書留、宅急便にする必要はありません。PDF 申込の方は BAND メッセージでお送りください。

## I. 設計条件

この課題は、国際親善のために宿泊部門のある研修施設を計画するものである。計画に当たって、長期滞在の居住環境として、宿泊室はすべて南に面するものとし、かつバルコニーを設けるものとする。加えて自由提案として、交流するための室を設けることが求められている。バリアフリー法円滑化基準を満たすものとする。

## 1. 敷地及び周辺条件

- 敷地の形状、接道条件、周辺状況等は、「敷地図」のとおりである。
- 敷地は道路及び隣地との相互間に高低差はない。また歩道の切り開きは、1箇所当たり6mまでできるものとする。
- 敷地は、近隣商業地域及び準防火地域に指定されている。また、建ぺい率の限度は80%(特定行政庁が指定した角地にある敷地及び準防火地域における耐火建築物等を含む)、容積率の限度は300%である。
- 敷地内はできる限り緑化することを心がけるものとする。
- 電気、ガス及び上下水道は、完備している。
- 地盤は良好であり、杭打ち等の必要はない。
- 水害、日影及び積雪の配慮はしなくてよい。

## 2. 建築物

- 構造、階数等  
構造形式は自由とし、地上3階建ての耐火建築物とする。
- 床面積の合計  
床面積の合計は、容積率以下とする。  
この課題の床面積の算定においては、ピロティ、塔屋、バルコニー、屋外階段は、床面積に算入しないものとする。なお、ピロティ等を屋内的用途に供するもの(駐車場、設備スペース等)については、床面積に算入するものとする。
- 要求室  
下表の室は、すべて計画する。

部門	室名	特記事項	床面積
交流 研修 部門	多目的 交流ホール	・天井高さ5m以上とし、無柱空間とする。 ・空調機械室、倉庫を除き、約160m <sup>2</sup> とする。	約 160m <sup>2</sup>
	図書室	・図書事務室、貸出カウンター、書架、テーブル、イス、キャレル等を配置する。	300m <sup>2</sup> 以上
	会議室	・大・中・小3つの会議室を計画する。 ・大会議室にはステージを設ける。	計220m <sup>2</sup> 以上
	提案室	・交流するための室を2室以上計画する。 ・室名は提案室とせず、設定してつけること。	計250m <sup>2</sup> 以上
宿泊 部門	宿泊室	・バス、洗面、トイレユニットを設ける。 ・机、ベッドを設ける。 ・バルコニーを設け、南面させる。 ・1室約20m <sup>2</sup> とし、17室以上設ける。	計340m <sup>2</sup> 以上
	リネン庫	・宿泊室用とする。	適宜
	宿泊ロビー	・ソファを設ける。 ・屋上庭園への出入り口付近に設ける。	適宜
共用 部 他	エントランス ホール	・風除室を設ける。 ・上部には吹抜け(100m <sup>2</sup> 以上とし、風除室上部は含まず)を設け、加えてトップライトを設ける。 ・2階への専用階段を設ける。	適宜
	ラウンジ	・エントランスホールに面して設ける。	適宜
	レストラン	・テーブル、イス、カウンターで20席以上設ける。厨房等を設ける。	適宜
	事務室	・案内カウンターを設ける。	適宜
	更衣室	・職員用として男女設ける。	適宜
	倉庫		適宜
	便所	・男、女、多機能トイレ(オストメイト対応)を各階に設け便器、洗面、SK等をレイアウトする。	適宜
設備スペース	・必要に応じて室外機、電気設備を設置する。 ・機器のメンテナンスに配慮した配置とする。 ・その他、採用した設備計画に応じて計画する。	適宜	
・職員の通用口等は、適切に計画する。 ・上記の室に関連して必要と思われる室等は、適宜計画するものとする。			

## 3. その他の施設等

- 駐車場は平面駐車とし、車いす使用者用として1台分、一般利用者用として1台分、管理・サービス用として1台分を設ける。
- 駐輪場は、2.0mx0.5m/台とし、20台分以上設ける。
- ベンチ、植栽等を配置した屋上庭園(200m<sup>2</sup>以上)を設ける。

## 4. 留意事項

建築計画、構造計画及び設備計画については、次の点に留意して計画する。

- 建築物はバリアフリー、セキュリティ、省エネルギー、景観に配慮する。
- 利用者の当該敷地へのアプローチは、利用者の利便性に配慮する。また各部門は利用形態に応じて適切に計画する。
- 敷地条件(方位等)や周辺環境に配慮するとともに、空調負荷の抑制や自然光の利用、日射遮蔽及び通風等を用いて、建築環境負荷低減に配慮する。
- 建築物全体が、構造耐力上、安全であるように計画するとともに経済性にも配慮する。

- 構造種別、架構形式、スパン割及び基礎構造について適切に計画すると共に、適切な断面寸法の部材を配置する。
- 設備機器の搬出入及び更新に配慮した計画とする。  
エレベーターは、利用者用1基とし、サービス用と兼用する。
- 建築物の外壁の開口部で延焼のおそれのある部分には、所定の防火設備を適切に計画する。また、防火区画(面積区画・堅穴区画)が必要な部分には、所定の防火設備を用いて適切に区画する。なお、本建築物は、「避難上の安全の検証」を行わないものとする。
- 廊下を含む共用部分の排煙を適切に計画する。
- 地上に通ずる2以上の直通階段を適切に計画する。また、必要に応じて、「敷地内の避難上必要な通路」を適切に計画する。

## II. 要求図書

答案用紙Iの定められた枠内(寸法線については枠外でもよい。)に、黒鉛筆を用いて記入する。

## 1. 要求図面(答案用紙Iに記入)

下表により、所定の図面を作成し(フリーハンドでもよい)、必要な事項を記入する。なお各図面には、必要に応じて計画上留意した事項について、簡潔な文章や矢印等により補足して明示する。

図面及び縮尺	特記事項
(1)1階平面図 兼 配置図 1/200	① 1階平面図兼配置図、2階平面図及び3階平面図に、次のものを図示又は記入する。 イ.建築物の主要寸法(柱割り及び床面積の計算に必要な程度) ロ.室名等 ハ.設備シャフト[パイプシャフト(PS)、ダクトスペース(DS)、電気シャフト(EPS)]の位置 ニ.設備計画に応じた設備スペース ホ.断面図の切断位置 ヘ.要求室の床面積、特記事項の室、スペース、什器等 ト.建築物の外壁の開口部で延焼のおそれのある部分の位置及び防火設備、防火区画に用いる防火設備
(2)2階平面図 1/200	② 1階平面図兼配置図には、次のものを図示又は記入する。 イ.建築物の出入口(▲で表示)、通用口等(△で表示) ロ.駐車場及び駐輪場(台数及び出入口を明示する。) ハ.敷地内の避難上必要な通路(ある場合のみ)の経路と幅 ニ.通路、植栽等
(3)3階平面図 1/200	③ 2階平面図には、次のものを図示又は記入する。 イ.下階の屋根、ひさし等となる部分 ロ.居室の最も遠い位置から2の直通階段に至る歩行経路、その一に至る歩行距離及び重複区間の長さ ④ 3階平面図には、次のものを図示又は記入する。 イ.下階の屋根、ひさし等となる部分 ロ.居室の最も遠い位置から2の直通階段に至る歩行経路、その一に至る歩行距離及び重複区間の長さ
(3)断面図 1/200	① 切断位置は、エントランスホール吹抜けを含む位置とし、立体構成がわかる断面とする。なお水平方向、鉛直方向の省略は行わないものとする。 ② 建築物の最高の高さ、階高、天井高、1階床高、基礎底盤、及び主要な室名を記入する。 ③ 梁、壁、基礎、スラブの断面を図示する。 ④ 延焼の恐れのある部分及び、防火区画の防火設備、特定防火設備を図示する。

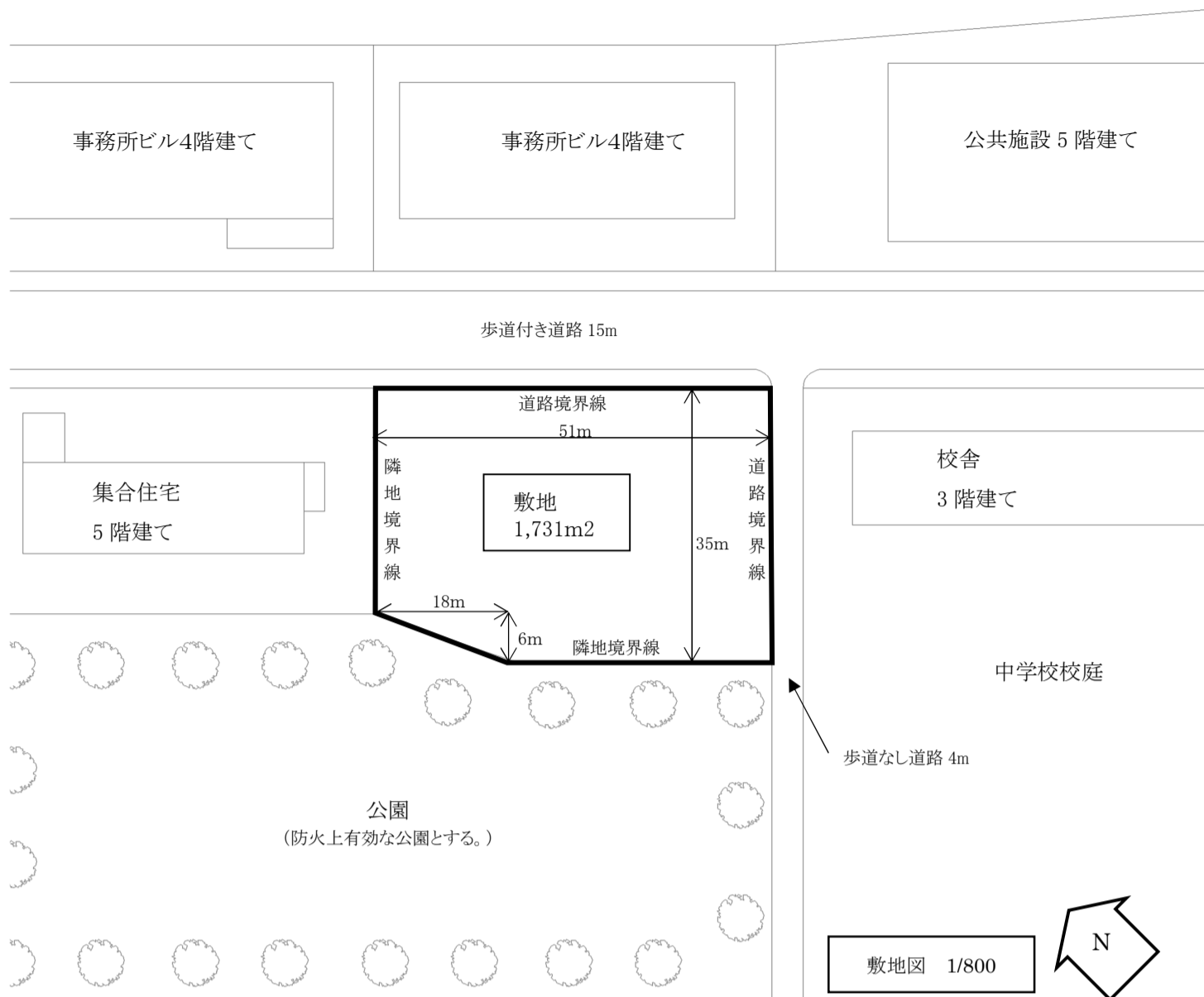
## 2. 面積表(答案用紙Iに記入)

- 地上1~3階の床面積及びその合計を記入する。なお、各階の床面積については、その算定式も記入する。また建ぺい率とその計算式についても記入する。

## 3. 計画の要点等

建築計画、構造計画及び設備計画について、次の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。

- 建築物の動線・ゾーニング計画について宿泊部門のセキュリティに配慮した点
- 建築物へのアプローチ計画について配慮した点
- 敷地周辺環境に対して建築計画上配慮した点
- 提案室の室名と提案理由
- 代表的な宿泊室のレイアウト(1/100程度)
- 多目的交流ホールの架構計画について、その特徴及び特に配慮した点
- 選定した基礎とその経済性について配慮した点
- 採用した空調方式について省エネルギーの観点から配慮した点

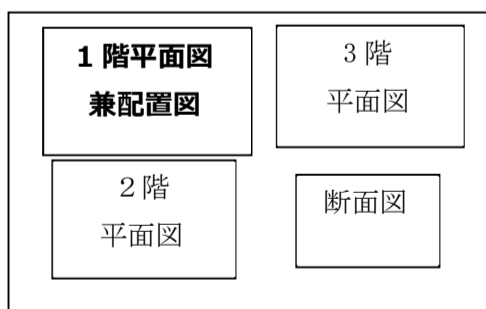


**防火設備等の凡例**

(⊕、⊙等の表示は、必要な箇所(外壁の開口部、断面図も含む)に全て記入すること)

【建築物の外壁の開口部で延焼のおそれのある部分の位置(延焼ライン)と防火設備】	【防火区画に用いる防火設備の位置及び種類】	
	防火区画(面積区画・堅穴区画)に応じて、要求される所定の防火設備の位置及び種別を記入すること	
建築物の外壁の開口部で延焼のおそれのある部分がある場合においては、隣地境界線又は道路中心線から延焼のおそれのある部分までの距離(m)を記入し、延焼ラインを破線で図示すること また、建築物の外壁の開口部で、延焼のおそれのある部分の開口部に要求される所定の防火設備の種別を記入すること	特定防火設備          <b>特</b>	法2-9-2ノロに規定する防火設備          <b>防</b>

**5. 図面レイアウト(製図試験.com 課題指示:本試験では解答用紙Iに記載)**



■添削について  
 コース生・添削希望者は、図面、要点、エスキース・分析表を同封して下記住所までお送り下さい。〆切は7月10日(月)消印有効。添削は約1週間程度でご返却を予定しています。  
 〒554-0012 大阪市此花区西九条2-7-8-3F 製図試験.com 事務局  
 送付前に図面は必ずコピーを取ったのち、その原本を4つ折りして角2号封筒を使用してください。速達、書留、宅急便にする必要はありません。PDF申込の方はBANDメッセージでお送りください。



